

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】令和7年1月6日(2025.1.6)

【公開番号】特開2024-104837(P2024-104837A)
 【公開日】令和6年8月6日(2024.8.6)
 【年通号数】公開公報(特許)2024-146
 【出願番号】特願2023-9221(P2023-9221)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 5/04 6 1 1 Z

A 6 3 F 5/04 6 1 1 A

A 6 3 F 5/04 6 1 1 B

【手続補正書】

【提出日】令和6年12月20日(2024.12.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数種類の処理を実行し、当該処理を実行する場合に内部記憶手段に情報を一時的に記憶させる制御手段を備え、

前記制御手段は、

前記複数種類の処理のうち、プログラム記憶手段における所定アドレス範囲内の記憶領域に記憶されているプログラムを利用した処理である領域内処理を実行する領域内処理実行手段と、

30

前記複数種類の処理のうち、前記プログラム記憶手段における前記所定アドレス範囲の外部のアドレス範囲の記憶領域に記憶されているプログラムを利用した処理である領域外処理を実行する領域外処理実行手段と、

前記領域内処理を開始する場合には前記内部記憶手段に記憶された情報を退避記憶手段に退避させることなく、前記領域外処理を開始する場合又は開始した後に、前記内部記憶手段に記憶された情報を前記退避記憶手段に退避させる退避実行手段と、

前記領域外処理を終了する場合又は終了した後に、前記退避記憶手段に退避された情報を前記内部記憶手段に復帰させる復帰実行手段と、

前記領域内処理及び前記領域外処理を実行可能な特定処理を実行する手段と、

割込み条件が成立したに基づいて、前記領域内処理及び前記領域外処理を実行可能な割込み処理を実行する手段とを備え、

40

前記特定処理において前記領域内処理を実行している状況から前記領域外処理を開始する場合には、前記領域外処理を開始する前における前記領域内処理にて前記割込み処理の実行を禁止し、前記領域外処理を終了して前記領域内処理に復帰する場合には、当該復帰した領域内処理にて前記割込み処理の実行を許可することにより、前記領域外処理において前記割込み処理の実行が許可されない構成とし、

前記領域内処理では、遊技の進行に関わる処理を実行し、

特定条件が成立してからの経過時間と対応する特定情報を更新する更新処理を、前記割込み処理における領域外処理において実行することを特徴とする遊技機。

50